

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2024年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		環境園芸学科		
科目名称	専攻演習 I					授業形態	演習		
科目コード	710093	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	岡島 直方							ICT活 用	
授業概要	この授業は造園緑地専攻の応用科目として位置づけ、造園家として要求される知識・技能・計画性・情報収集能力・計算能力を高めることを目的とする。造園関連の学協会誌・テキストによる演習や事例紹介・現地見学等が各研究室ごとにあるいは研究室合同で行われる。認識力や表現力ならびにプレゼンテーション能力を高めることが期待される。								
関連する科目	「造園学概論」に始まる造園専門科目群、「専攻演習 I」、「専攻演習 II」、「専攻演習 III」、「卒業論文」が一連の授業体系を構成している。								
授業の進め方と方法	教室で座学的に実施する演習、樹林地やフィールドなどで演習や実習。樹林地実習では、実技体験を行う。 以下に示す計画は目安であり、メンバーにも左右されるものであり、年度により変わることがある。								
授業計画【第1回】	ガイダンス メンバー顔合わせ、演習の進め方などを話します。								
授業計画【第2回】	造園の基礎知識 関連する資料を提示します。								
授業計画【第3回】	造園の基礎技能（樹林地の維持管理） 季節に合わせた維持管理を行います。								
授業計画【第4回】	造園の応用知識その1 文献講読をします。								
授業計画【第5回】	造園の応用知識その2 テキスト演習をします。								
授業計画【第6回】	造園の応用技能その3 樹林地の維持管理を行います。								
授業計画【第7回】	造園の応用知識その4 事例研究の例を行います。								
授業計画【第8回】	造園の応用知識その5 事例研究の例の続きを行います。								
授業計画【第9回】	造園の技能技能士関連 演習を行います。								
授業計画【第10回】	造園の技能技能士関連 演習のつづきを行います。								
授業計画【第11回】	造園計画演習 課題に関して計画を行います。								

授業計画 【第12回】	造園緑地の情報収集その1 WEBを通じた資料収集を行います。
授業計画 【第13回】	造園緑地の情報収集その2 フィールドでの調査を行います。
授業計画 【第14回】	造園緑地の情報収集その3 フィールド調査のつづきを行います。
授業計画 【第15回】	造園緑地の計算処理 問題を解いてもらいます
授業の到達目標	1. 現状の認識力や表現力、グループ作業による協調性を身につける。 【専門分野のスキル】【課題発見・分析・解決力】【実践力】 2. プレゼンテーション能力など、造園家に不可欠な素養を高めることが期待される。 【プレゼンテーション力】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)
授業時間外学習【予習】	渡されたプリントなどを読んでおくこと。(30分程度)
授業時間外学習【復習】	当日取り組んだことを簡潔にメモしておくこと。(30分程度)
課題に対する フィードバック	討論や打ち合わせの時に、各自の取り組みに対するコメントを行います。その都度、アドバイスをします。
評価方法・基準	参加態度70点 レポート30点
テキスト	
参考書	プリントなどを配布
備考	資格を目指す学生は、造園施工管理技術編/社団法人 日本公園緑地協会 過去の論文の閲覧は、ランドスケープ研究 日本造園学会 を使用してください。

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	環境園芸学科				
科目名称	専攻演習 I					授業形態	演習		
科目コード	710093	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	日高 英二							ICT活 用	○
授業概要	<p>自然環境専攻の応用科目として位置づけ、卒業研究および卒業論文作成に必要な知識・技能を高めることを目的とする。関連する学協会誌・テキストによる演習、樹種の判別能力の向上、樹勢判定および植栽地の環境調査の手法の習得などを行う。</p>								
関連する科目									
授業の進め方 と方法	<p>文献購読や各種調査方法の体験を通じて、調査手法を習得する。それらをもとに卒業研究のテーマや調査内容を決定する。</p>								
授業計画 【第1回】	ガイダンス 演習の進め方								
授業計画 【第2回】	自然環境の基礎知識 (文献購読)								
授業計画 【第3回】	樹種の識別 その1 (学内の樹木観察1)								
授業計画 【第4回】	樹種の識別 その2 (学内の樹木観察2)								
授業計画 【第5回】	樹種の識別 その3 (近隣公園等の樹木観察1)								
授業計画 【第6回】	樹種の識別 その4 (近隣公園等の樹木観察2)								
授業計画 【第7回】	樹木の活力度・危険度の判定								
授業計画 【第8回】	環境調査法 その1 (植栽位置図の作成1)								
授業計画 【第9回】	環境調査法 その2 (植栽位置図の作成2)								
授業計画 【第10回】	環境調査法 その3(土壌環境の調査1)								
授業計画 【第11回】	環境調査法 その4(土壌環境の調査2)								

授業計画【第12回】	自然環境の情報収集 その1 (WEB)
授業計画【第13回】	自然環境の情報収集 その2 (フィールド調査)
授業計画【第14回】	自然環境の情報収集 その3 (フィールド調査)
授業計画【第15回】	データ整理の手法
授業の到達目標	演習を通じて、自然環境の現状の認識力を向上させ、グループ作業による協調性など、卒業研究に必要な素養を高めることが期待される。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	日常的に植物や自然環境を観察し、疑問点を整理する。(週30分程度)
授業時間外学習【復習】	関係する文献等を読み、自然環境・樹木への理解を深める。(週30分程度)
課題に対するフィードバック	提出課題を評価後、返却し解説を行う。
評価方法・基準	演習レポート100点
テキスト	資料配布
参考書	ランドスケープ研究 日本造園学会 日本森林学会誌 日本森林学会 など
備考	

# Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	開講キャンパス	都城キャンパス	都城キャンパス	開設学科	開設学科	環境園芸学科			
科目名称	専攻演習 I					授業形態	授業形態	演習			
科目コード	710093	単位数	2単位	配当学年	配当学年	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○		○
担当教員名	牧田 直子							ICT活 用	○		○
授業概要	この授業では造園学分野における応用科目として位置づけ、授業では得られなかったことを学習すること、卒論のテーマを見つけることを目的とする。造園家として要求される知識・技能・計画性・情報収集能力・計算能力を高め、卒論に向けて論理的に分析し、記述する能力を身につける。自身が学んできた内容をふりかえり、ポートフォリオを作成する。										
関連する科目											
授業の進め方 と方法	既往論文を講読し、研究の意義役割を学ぶ。 研究方法の妥当性や応用性について考え意見を述べる。 テーマに沿って調べてきた内容をプレゼンテーションし、意見を述べ合う。 実際に庭園を見学し調査を行うこともある。 その他課題を行い、発表し、修正するなどを行っていく。										
授業計画 【第1回】	1 ガイダンス この講義の進め方、卒論までのプロセスなどを解説する。ポートフォリオ作成について説明する。										
授業計画 【第2回】	2 実習 フィールドセンター内の花壇や温室の植物の管理を行う。 庭園調査になる場合もあり。										
授業計画 【第3回】	3 論文総論 レポートとの違い、計画の立て方、既往論文の探し方について解説する。										
授業計画 【第4回】	4 研究総論 既往論文を講読する。論文の構成と論文マナーについて解説する。										
授業計画 【第5回】	5 研究総論② 別の視点で既往論文を選び講読する。論文の目的、研究方法、結果について解説する。										
授業計画 【第6回】	6 研究テーマの検討① 卒業研究について考え、その内容を発表する。その研究の役割や妥当性を指導する。										
授業計画 【第7回】	7 研究方法① アンケート調査とその分析方法について学ぶ。 庭園調査の場合もあり。										
授業計画 【第8回】	8 研究方法② 文献調査とそのまとめ方について学ぶ。図書館を利用する。										
授業計画 【第9回】	9 研究テーマの検討② 6-7を学習したうえで再度卒業研究内容や既往論文について発表する。 研究に関連するデータを収集する。 その研究の役割や妥当性を考察し、自身の研究テーマについて指導する。										
授業計画 【第10回】	10庭園調査（学外） 4年生の卒論調査に同行します。実際に調査も体験します。										
授業計画 【第11回】	11庭園調査（学外） 引き続き4年生の卒論調査に同行します。実際に調査も体験します。										

授業計画【第12回】	12ポートフォリオ作成 ポートフォリオについて、役割や作り方、使い方を解説します。ポートフォリオを作成します。
授業計画【第13回】	13研究テーマに沿った資料作成① 検討している研究テーマに沿って必要なデータを取得、あるいは文献調査を行ってまとめる。不足分やさらに調べるものについて指導を行う。
授業計画【第14回】	14研究テーマに沿った資料作成② 13で不足したもの、追加の情報を得てまとめる。内容について添削指導する。
授業計画【第15回】	15ポートフォリオ提出 ポートフォリオの内容について発表する。
授業の到達目標	
学位授与の方針(DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	
授業時間外学習【復習】	
課題に対するフィードバック	
評価方法・基準	課題に対する進捗度50%、理解度50%、全体で100%。
テキスト	
参考書	作品選集 技術報告集 ランドスケープ研究 (日本造園学会) など
備考	

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2024年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		環境園芸学科		
科目名称	専攻演習 I					授業形態	演習		
科目コード	710093	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	平岡 直樹							ICT活 用	○
授業概要	<p>本授業の目的は、造園緑地専攻の応用科目として位置づけられ、造園家として要求される知識・技能・計画性・情報収集能力・計算能力を高めることである。            造園関連の学協会誌・テキストによる演習や事例紹介・現地見学等が各研究室ごとにあるいは研究室合同で行われる。認識力や表現力ならびにプレゼンテーション能力を高めることが期待される。</p>								
関連する科目	造園学概論に始まる造園専門科目群、専攻演習Ⅱ、専攻演習Ⅲ、卒業論文が一連の授業体系を構成している。								
授業の進め方と方法	<p>まず造園の基礎的概念や用語を復習します。続いて研究とはどのようなものでどのように行うのかを実際の研究を参考にしながら学ぶ。同時に、論文の書き方や注意点などのについても学んでいく。ほとんどの授業にてテーマに沿ってまとめてきた課題を報告し、互いに意見交換をするなどアクティブラーニング型の授業を行う。</p>								
授業計画【第1回】	ガイダンス 演習の進め方、参考文献紹介、造園家を仕事・役割の再認識								
授業計画【第2回】	造園の基礎知識 文献講読								
授業計画【第3回】	造園の基礎技能 事例地の見学と管理等								
授業計画【第4回】	造園の応用知識 その1 文献講読								
授業計画【第5回】	造園の応用知識 その2 テキスト演習								
授業計画【第6回】	造園の応用技能 その3 事例地の見学や維持管理								
授業計画【第7回】	造園の応用知識 その4 事例研究								
授業計画【第8回】	造園の応用知識 その5 事例研究								
授業計画【第9回】	造園の技能 技能士関連の演習 その1								
授業計画【第10回】	造園の技能 技能士関連の演習 その2								
授業計画【第11回】	造園計画演習 作図、読図演習								

授業計画【第12回】	造園緑地の情報収集 その1 WEB情報の検索
授業計画【第13回】	造園緑地の情報収集 その2 フィールド調査
授業計画【第14回】	造園緑地の情報収集 その3 フィールド調査及び整理
授業計画【第15回】	造園緑地の計算処理 よく使う数式等を用いた演習
授業の到達目標	1) 都市景観について体系的に学び、都市とはどんなものか、景観が都市の中でどのような役割を果たしているかを知る。【専門分野のスキル】 2) 都市景観の調査や計画にかかわる専門職業人として必要な基礎的知識や技術を学び、持続可能な循環型社会の実現に向けた課題発見と問題解決をはかる手がかりを身につける。【課題発見・分析・解決力】 3) 演習を通じて、現状の認識力や表現力、グループ作業による協調性ならびにプレゼンテーション能力など、技術者として不可欠な素養を高める。【プレゼンテーション力】【実践力】
学位授与の方針(DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)
授業時間外学習【予習】	第1回目の授業で示す参考図書など基礎的な都市論や景観論、造園学に関する資料を授業前に読んでおいて欲しい。 また、自らの都市や景観についての知見を深め、景観の社会的意義を理解するために、身近な都市や自然地に赴き、その成り立ちや社会的位置づけなどについて考察を深めておいて欲しい。 担当する箇所がある場合は、発表資料などを準備する。(約1.5時間)
授業時間外学習【復習】	第1回目の授業で示す参考図書など基礎的な地域論や景観論、造園学に関する資料について、授業後に理解が曖昧な時は再度見直しておく。(約0.5時間)
課題に対するフィードバック	課題や発表内容は、基本的には演習時間を資料して活発に質疑応答を行う。
評価方法・基準	毎回の演習に対する進捗度、理解度を評価する。
テキスト	授業中において配布する資料及び紹介又は指示する書籍
参考書	第1回目の授業(ガイダンス)において紹介する。主なものの一部を以下に示す。 造園施工管理技術編/社団法人 日本公園緑地協会 ランドスケープ研究 日本造園学会 など
備考	演習の実施形態についてはガイダンス時に紹介する。



Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	環境園芸学科				
科目名称	専攻演習 I					授業形態	演習		
科目コード	710093	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	前田 隆昭							ICT活 用	
授業概要	本演習では、果樹園芸学に関連する学術論文を読み、内容を簡潔にまとめて発表する【汎用的技能の育成】。毎回、専攻生が持ち回りで発表を行う。発表は、論文1報を理解した上で、相手にわかりやすいように図表などを用いながら紹介できるようになることを目標とする。								
関連する科目	専攻演習Ⅱ・Ⅲ								
授業の進め方 と方法	毎回、専攻生がパワーポイントを用いて、果樹園芸学に関連する論文を簡潔にまとめてプレゼンを行う【汎用的技能の育成】。その後、質疑応答の時間を設け、ディスカッション等により学びを深める。本授業は、グループディスカッション、グループワーク、プレゼンテーションを取り入れたアクティブラーニング形式とする。								
授業計画 【第1回】	第1回 ガイダンス（スケジュール、評価、概要説明）					授業のスケジュールおよび評価方法、概要を説明する。			
授業計画 【第2回】	第2回 学術論文について説明					学術論文の構成および書き方について学ぶ。			
授業計画 【第3回】	第3回 図表の説明					学術論文の図表の書き方について学ぶ。			
授業計画 【第4回】	第4回 統計処理の方法					統計処理について学ぶ。			
授業計画 【第5回】	第5回 論文紹介および発表1 学術論文を紹介するとともに、その内容について専攻生がプレゼンを行う。								
授業計画 【第6回】	第6回 論文紹介および発表2 学術論文を紹介するとともに、その内容について専攻生がプレゼンを行う。								
授業計画 【第7回】	第7回 論文紹介および発表3 学術論文を紹介するとともに、その内容について専攻生がプレゼンを行う。								
授業計画 【第8回】	第8回 論文紹介および発表4 学術論文を紹介するとともに、その内容について専攻生がプレゼンを行う。								
授業計画 【第9回】	第9回 論文紹介および発表5 学術論文を紹介するとともに、その内容について専攻生がプレゼンを行う。								
授業計画 【第10回】	第10回 論文紹介および発表6 学術論文を紹介するとともに、その内容について専攻生がプレゼンを行う。								
授業計画 【第11回】	第11回 論文紹介および発表7 学術論文を紹介するとともに、その内容について専攻生がプレゼンを行う。								

授業計画【第12回】	第12回 論文紹介および発表8 学術論文を紹介するとともに、その内容について専攻生がプレゼンを行う。
授業計画【第13回】	第13回 論文紹介および発表9 学術論文を紹介するとともに、その内容について専攻生がプレゼンを行う。
授業計画【第14回】	第14回 論文紹介および発表10 学術論文を紹介するとともに、その内容について専攻生がプレゼンを行う。
授業計画【第15回】	第15回 論文紹介および発表11 学術論文を紹介するとともに、その内容について専攻生がプレゼンを行う。
授業の到達目標	論文の構成を理解し、自分でまとめて発表する力を養う。【専門分野のスキルの獲得】【汎用的技能の育成】
学位授与の方針(DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)
授業時間外学習【予習】	次回の論文を読み、知識を深めておくこと。(約1時間)
授業時間外学習【復習】	専攻演習Iで読んだ論文に関する参考文献を調べ、より理解を深めること。(約1時間)
課題に対するフィードバック	毎回、プレゼンについての指導を行う。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価する。 1) 受講態度-50点 2) 発表内容-50点
テキスト	特になし(毎回資料を配布する)
参考書	特になし
備考	

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	環境園芸学科				
科目名称	専攻演習 I					授業形態	演習		
科目コード	710093	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	廣瀬 大介							ICT活 用	
授業概要	本科目では、学会誌（主として日本作物学会記事と日本草学会誌）を参考にして学術論文の構成や書き方、さらには、研究データの基本的な取りまとめ方法について教授する。								
関連する科目	特になし。								
授業の進め方 と方法	毎回、アクティブラーニング型授業を実施する。各回のテーマに沿って教員が講義を行い、それに対して受講者各自の考え方を述べる方法で行っていく。								
授業計画 【第1回】	学術論文とは何か？ 学術論文とは何かを学ぶ。								
授業計画 【第2回】	学術論文の基本構成 学術論文がどのように構成されているのかを学ぶ。								
授業計画 【第3回】	緒言とは？ 学術論文における緒言とは何かについて学ぶ。								
授業計画 【第4回】	材料と方法とは？ 学術論文における材料と方法とは何かについて学ぶ。								
授業計画 【第5回】	結果とは？ 学術論文における結果とは何かについて学ぶ。								
授業計画 【第6回】	考察とは？ 学術論文における考察とは何かについて学ぶ。								
授業計画 【第7回】	考察の書き方 学術論文における考察の書き方を学ぶ。								
授業計画 【第8回】	謝辞とは？ 学術論文における謝辞とは何かについて学ぶ。								
授業計画 【第9回】	引用文献とは？ 学術論文における引用文献とは何かについて学ぶ。								
授業計画 【第10回】	グラフの作成方法（基本） 基本的なグラフの作成方法について学ぶ。								
授業計画 【第11回】	グラフの作成方法（学術的な方法） 学術論文のグラフとして認められる作成方法について学ぶ。								

授業計画 【第12回】	表の作成方法（基本） 基本的な表の作成方法について学ぶ。
授業計画 【第13回】	表の作成方法（学術的な方法） 学術論文の表として認められる作成方法について学ぶ。
授業計画 【第14回】	統計処理の必要性 学術論文における統計処理の必要性について学ぶ。
授業計画 【第15回】	統計処理の方法 学術論文における基本的な統計処理方法について学ぶ。
授業の到達目標	基本的な学術論文の書き方や研究データのまとめ方について理解することを目標とする【知識・理解の育成】。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)
授業時間外学習【予習】	参考書を基に学術論文とは何かを理解できるよう準備すること（約1時間）。
授業時間外学習【復習】	教授されたことと参考書と比較し整理すること（約1時間）。
課題に対する フィードバック	毎回、各自に質問をして、回答を求めるが、その回答に対して補足説明をする。
評価方法・基準	受講態度（50点）、質問に対する回答力（50点）
テキスト	必要に応じて配布する。
参考書	日本作物学会記事、日本草地学会誌（いずれも最新版）
備考	

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2024年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		環境園芸学科		
科目名称	専攻演習 I					授業形態	演習		
科目コード	710093	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	中野 光議							ICT活 用	○
授業概要	本演習の目的は、卒業研究を行うために必要な知識と技能を養うことです。本演習では、科学的な研究を行うための方法、および論文の書き方について学びます。また、卒業研究のテーマを設定し、研究計画を作成します。各自の卒業研究のテーマと関係が深い論文を批判的に読み、自分の研究に活用する練習を行います。								
関連する科目	水辺環境論、環境緑地論、環境調査及び再生論、ピオトープ論、水辺環境論実習の受講を終えていることが望ましい。同時期に環境緑地論実習を履修していることが望ましい。履修後は、専攻演習II、専攻演習III、卒業論文を履修する必要がある。								
授業の進め方と方法	毎回の授業で、各自の卒業研究のテーマと関係が深い論文を読み、その論文についてレポートを作成します。論文を探すために、グーグルスカラー等のインターネットサイトを活用します。								
授業計画【第1回】	第1回 論文の収集と読解の方法 インターネットや図書館等を利用して論文を集める方法を学びます。								
授業計画【第2回】	第2回 客観的な文章の書き方 客観的に他の人に伝わる文章の書き方を学びます。								
授業計画【第3回】	第3回 論文の書き方(1) はじめに 論文の「はじめに」の項(背景、目的を含む)の書き方を学びます。								
授業計画【第4回】	第4回 論文の書き方(2) 方法 論文の「方法」の項の書き方を学びます。								
授業計画【第5回】	第5回 論文の書き方(3) 結果 論文の「結果」の項の書き方を学びます。								
授業計画【第6回】	第6回 論文の書き方(4) 考察 論文の「考察」の項の書き方を学びます。								
授業計画【第7回】	第7回 論文の書き方(5) タイトル 論文のタイトル(表題)の書き方を学びます。								
授業計画【第8回】	第8回 英語論文の読解 学術的な英語論文の読み方と書き方について学びます。								
授業計画【第9回】	第9回 仮説-検証型の研究 研究を進めるに当たって仮説を立てるこの意義と、仮説を作成する方法を学びます。								
授業計画【第10回】	第10回 統計解析 統計解析の概要とソフトの使い方を学びます。								
授業計画【第11回】	第11回 研究の着眼点と構想 研究を始める際に必要となる、研究の着眼点と構想を養う方法を学びます。								

授業計画 【第12回】	第12回 研究のゴールとプロセスの設定 研究計画を作成するために、研究のゴールとプロセスを設定します。
授業計画 【第13回】	第13回 研究テーマの選定 研究テーマ候補を構造化し、研究テーマを選定します。
授業計画 【第14回】	第14回 研究構想・計画の作成 研究の構想と計画を作成し、研究計画書を書きます。
授業計画 【第15回】	第15回 研究計画発表 研究計画を発表し、議論します。
授業の到達目標	1. 卒業研究として取り組みたい研究テーマを選定し、研究計画書を作成します。 2. 卒業研究の遂行と論文の作成に必要な知識と技能を習得します【汎用的技能の育成】。
学位授与の方針 (DP)との関連	2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	テキストの該当箇所を一通り読んできてください（30分ほど）。
授業時間外学習【復習】	毎回の授業終了後、論文を読んでレポートを作成するために、1時間程度を要します。
課題に対する フィードバック	不明な点・疑問点については、日常的に助言、指導を行います。
評価方法・基準	レポートと研究計画書で評価します。
テキスト	『研究の育て方』近藤克則 著（医学書院）
参考書	『これから論文を書く若者のために 究極の大改訂版』酒井聡樹著（共立出版）
備考	なし

# Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	環境園芸学科				
科目名称	専攻演習 I				授業形態	演習			
科目コード	710093	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	林 典生							ICT活 用	○
授業概要	<p>研究領域を決めるためには、興味・関心を焦点化しながら情報収集・整理を行い、問題意識を醸成すること、問題意識に基づく文献・資料・論文を読解することや、既存の研究成果を整理しながら思索を重ねて問いを生成することが必要であり、本科目はそれら研究過程を同じ研究室所属の学生との協働を通して段階的に実践することで、研究とは何か、自分は何を研究したいのかを見出すことを目的とする。研究領域を明確にし、これから研究成果を積み上げていくための準備を行う。</p> <p>本授業の目的は、園芸福祉領域についてさまざまな視点から資料を収集・解析ならびにプレゼンテーションする方法等の学習を通して、卒業研究の準備へとつなげる。</p> <p>授業では、園芸福祉に対する各自の興味関心を基に資料を収集し、課題に取り組み、議論を通して学びを深める。</p>								
関連する科目	履修後に専攻演習Ⅱ・Ⅲ及び卒業論文を履修すること								
授業の進め方と方法	<p>基本的に授業は、アクティブラーニング方式によって実施する。文献レビュー及び調査・解析等の研究方法の講義を行うとともに、それらに関連するグループ学習、ディスカッションや課題発表（問題解決学習、プレゼンテーション）等を行う。</p> <p>場合により、外部機関・団体による講話・意見交換等をオンライン形式で実施する場合がある。</p> <p>課題等の提出及びフィードバックは、ユニバのクラスプロフィール上で行う。</p>								
授業計画【第1回】	講義概要の説明、日程確認 自分の研究テーマを決定する流れとそのために必要な研究能力を知る。								
授業計画【第2回】	興味・関心に基づく文献講読の進め方 課題を提示して、検索等の文献講読の方法を確認する。								
授業計画【第3回】	興味・関心に基づく文献の発表と文献講読方法の決定 検索した複数の文献を紹介し、その中からより詳細に紹介する文献を決める。								
授業計画【第4回】	文献に関するプレゼンテーションと議論 複数回にわたり受講生自身が決めた文献を紹介するだけでなく、他の受講生が紹介する文献について質疑応答及び発表メモを取る。								
授業計画【第5回】	文献に関するプレゼンテーションと議論 受講生自身が決めた文献を紹介するだけでなく、他の受講生が紹介する文献について質疑応答及び発表メモを取り、疑問点の生成と解消に向けた議論を行う。								
授業計画【第6回】	興味・関心に基づく文献・資料検索、及びプレゼンテーションの実践 第5回目までに流れに基づき、別の複数の文献・資料を検索し、次回以後に取り上げる文献等の発表を行う。								
授業計画【第7回】	興味・関心に基づく文献・資料の発表と問題意識の醸成（一つの文献・資料に関する批判的検討） 各自が興味・関心を持つ文献・資料を発表し、問題意識の醸成に向けた議論を行う。								
授業計画【第8回】	興味・関心に基づく文献・資料の発表と問題意識の醸成（複数の文献・資料に関する批判的検討） 各自が興味・関心を持つ文献・資料を発表し、問題意識の醸成に向けた議論を行う。								
授業計画【第9回】	興味・関心に基づく文献・資料の発表と問題意識の醸成（複数の文献・資料に関する批判的再検討） 各自が興味・関心を持つ文献・資料を発表し、問題意識の醸成に向けた議論を行う。								
授業計画【第10回】	卒業研究中間発表会への参加・質疑応答と意見交換 卒業研究中間発表会に参加し、質疑応答・意見交換を通じて、問題意識の醸成及び研究領域の選択に向けた議論を行う。								
授業計画【第11回】	問題意識に基づく論文検索と論文構成の理解 第10回目の流れに基づき、各自が論文検索を複数行い、その中から研究領域・テーマを2個選択し、選択した論文を報告する。								

授業計画【第12回】	問題意識に基づく論文発表(論文構成の理解及び疑問点の生成) 各自が検索した論文の概要を発表・整理し、疑問点と今後の問題意識の展開に向けた議論を行う。
授業計画【第13回】	問題意識に基づく論文発表(疑問点の読解及び問題意識への展開) 前回と異なる研究領域・テーマについて各自が検索した論文の概要を発表・整理し、疑問点と今後の問題意識の展開に向けた議論を行う。
授業計画【第14回】	卒業論文発表会参加及び研究領域・テーマ報告書作成準備 卒業論文発表会に参加して生じた疑問点を解消・昇華し、問題意識の醸成及び研究領域・テーマの選択を行うとともに、研究領域報告書作成の準備を行う。
授業計画【第15回】	研究領域・テーマ報告書の発表・提出 各自が作成した研究領域報告書を発表・提出し、今後の研究領域・テーマの選択に向けた見通しを把握する。
授業の到達目標	1. 環境園芸学における園芸福祉の知識と技術及び価値の応用的内容を修得する。【教養・専門分野の知識・理解】【教養・専門分野、数量的スキル、情報リテラシー、論理的思考力、問題解決力のスキル向上】【自己管理能力、チームワーク・リーダーシップ、倫理観、市民としての社会的責任、生涯学習力の態度・志向性の涵養】【統合的な学習経験と創造的思考力の養成】 2. 口頭発表を通じてプレゼンテーション能力や集団討論を通じてディスカッション能力も含め総合的なコミュニケーション能力を向上させる。【教養・専門分野の知識・理解】【教養・専門分野、数量的スキル、情報リテラシー、論理的思考力、問題解決力のスキル向上】【自己管理能力、チームワーク・リーダーシップ、倫理観、市民としての社会的責任、生涯学習力の態度・志向性の涵養】【統合的な学習経験と創造的思考力の養成】
学位授与の方針(DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)
授業時間外学習【予習】	授業で配布するテキストならびに参考図書・論文等の資料を授業前に精読し準備する。(1時間程度)
授業時間外学習【復習】	授業後にさらに理解を深めるために授業で配布したテキストならびに参考図書・論文等の資料を再度精読する。(1時間程度)
課題に対するフィードバック	レポートは評価後、返却ならびに解説を行う。
評価方法・基準	発表・研究した内容に関するレポート(100%)、但し欠席・遅刻・早退及び私語等の悪い授業態度は注意の上、減点とする。
テキスト	専攻演習時に別途資料を配布し、それに基づき実施する。
参考書	学習技術研究会編著 知へのステップ第4版 くろしお出版 2018 高木隆司著 理科系の論文作法 丸善 1997 その他の文献は授業中にて紹介する
備考	この授業は第1回目開始前に受講生同士で話し合っ、実施曜日・時限を決めて行う。また、一部の授業は事前に連絡の上、別途日時を設けて実施する場合がある。 先方との都合次第により外部講師との意見交換や実践現場視察・活動体験等を行う場合がある。



# Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	環境園芸学科			
科目名称	専攻演習 I				授業形態			
科目コード	710093	単位数	2単位	配当学年	実務経験教員		アクティブ ラーニング	
担当教員名	陳 蘭庄						ICT活 用	
授業概要	<p>基本的な栽培技術を習得したうえ、最新の栽培システムやバイオテクノロジー的な手法などを用いて実行できるような指導を行う。実験材料の種類には捉われず、特に1) 宮崎の在来野菜品種の振興と野菜品種改良に関する栽培および育種学的な研究と、2) アボミクシスの作物品種改良に関する細胞学および生物工学的な研究を、重点的に推進する。各々の履修生の卒業論文のテーマに合わせて重点的に推進する。この講義の内容は、これまで本研究室で実際に行ってきた研究内容なので、これまでに得られた研究成果を発表してきた学会要旨や学術論文を交えながら、グループ討議や、実際の発表した学術論文を使って、目標をはっきりさせ、実験計画の立案から、計画の実施、結果のまとめ、論文の書き方まで、リアリティをもって教育することを行う。担当教員について、中国河北省農林科学院経済作物研究所にて、河北省蔬菜遺伝資源の探索、収集、調査、評価および「河北省蔬菜品種誌」の編集に携わった。科学技術特別研究員として農林水産省農業生物資源研究所と九州農業試験場にてアフリカから収集してきたイネ科牧草を用いてアボミクシス性特異的遺伝子のクローニングとその構造解析を行った。現場で培ってきた遺伝資源植物の扱い方や、苦労話、利用価値、重要性などについて、リアリティをもって学生に伝えたいと考えている。</p>							
関連する科目	蔬菜園芸総論、蔬菜園芸各論、植物資源科学、植物育種学など							
授業の進め方と方法	<p>卒業論文研究に関する参考文献や卒業論文などを中心に選んで、精読して理解できるようにさせるため、PPTを使ってその内容を各自発表してもらう。 一方、卒業論文研究に関わる栽培、育種技術を習得するため、集中的に実験や実習を行う。また、先輩の実験を見学させる。</p>							
授業計画【第1回】	各週に1～2名が、当番して各自の卒業論文研究に関わる文献などを、PPTで発表してもらう。 15回の中で3～4回ずつ担当してもらう。							
授業計画【第2回】	各週に1～2名が、当番して各自の卒業論文研究に関わる文献などを、PPTで発表してもらう。 15回の中で3～4回ずつ担当してもらう。							
授業計画【第3回】	各週に1～2名が、当番して各自の卒業論文研究に関わる文献などを、PPTで発表してもらう。 15回の中で3～4回ずつ担当してもらう。							
授業計画【第4回】	各週に1～2名が、当番して各自の卒業論文研究に関わる文献などを、PPTで発表してもらう。 15回の中で3～4回ずつ担当してもらう。							
授業計画【第5回】	各週に1～2名が、当番して各自の卒業論文研究に関わる文献などを、PPTで発表してもらう。 15回の中で3～4回ずつ担当してもらう。							
授業計画【第6回】	各週に1～2名が、当番して各自の卒業論文研究に関わる文献などを、PPTで発表してもらう。 15回の中で3～4回ずつ担当してもらう。							
授業計画【第7回】	各週に1～2名が、当番して各自の卒業論文研究に関わる文献などを、PPTで発表してもらう。 15回の中で3～4回ずつ担当してもらう。							
授業計画【第8回】	各週に1～2名が、当番して各自の卒業論文研究に関わる文献などを、PPTで発表してもらう。 15回の中で3～4回ずつ担当してもらう。							
授業計画【第9回】	各週に1～2名が、当番して各自の卒業論文研究に関わる文献などを、PPTで発表してもらう。 15回の中で3～4回ずつ担当してもらう。							
授業計画【第10回】	各週に1～2名が、当番して各自の卒業論文研究に関わる文献などを、PPTで発表してもらう。 15回の中で3～4回ずつ担当してもらう。							
授業計画【第11回】	各週に1～2名が、当番して各自の卒業論文研究に関わる文献などを、PPTで発表してもらう。 15回の中で3～4回ずつ担当してもらう。							

授業計画【第12回】	各週に1～2名が、当番して各自の卒業論文研究に関わる文献などを、PPTで発表してもらう。15回の中で3～4回ずつ担当してもらう。
授業計画【第13回】	各週に1～2名が、当番して各自の卒業論文研究に関わる文献などを、PPTで発表してもらう。15回の中で3～4回ずつ担当してもらう。
授業計画【第14回】	各週に1～2名が、当番して各自の卒業論文研究に関わる文献などを、PPTで発表してもらう。15回の中で3～4回ずつ担当してもらう。
授業計画【第15回】	各週に1～2名が、当番して各自の卒業論文研究に関わる文献などを、PPTで発表してもらう。15回の中で3～4回ずつ担当してもらう。
授業の到達目標	研究室で進めているそれぞれの研究テーマを例として、計画に沿って自分自身の研究テーマについて発表を毎回1～2人に発表させ、聞いた人は発表内容について、質問したり、アドバイスをしたりする。そういうことをして、初めて自分の研究テーマにもフィードバックでき、参考になったりしてスムーズに自分の研究テーマを進めることに繋がる。と同時に、他人の研究テーマについても勉強でき、将来的に就職にも繋がる。
学位授与の方針(DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)
授業時間外学習【予習】	事前に配った資料やプリント、指定した教科書または参考書、本授業とかかわりのある新聞記事や科学雑誌等をもって、予習すること。事前の勉強する時間は30分くらいあればと考える。
授業時間外学習【復習】	また、授業の内容について、分かったことやわからなかったことをはっきりさせ、配られた資料やノートを再点検してわからなかったことを自ら解決する。それでもわからない場合、図書館から関連図書を調べたりインターネットを使ったりして解けるようにする。どうしてもわからない時は、先生に直接聞いてみる。わからなかったことを貯めることなく、すぐに解決することを勧める。事後の勉強する時間は30分くらいあればと考える。
課題に対するフィードバック	それぞれの研究テーマの発表を毎回1～2人に発表させ、聞いた人は発表内容について、質問したり、アドバイスをしたりする。レポートは評価後、返却及び解説をする。
評価方法・基準	選んだ参考論文や卒業論文などの新規性(20%)、内容(20%)、まとめ方(20%)、完成度(20%)、発表(20%)などを総合的に評価する。
テキスト	特になし。
参考書	随時指定する。
備考	

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2024年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		環境園芸学科		
科目名称	専攻演習 I					授業形態	演習		
科目コード	710093	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	山口 健一							ICT活 用	
授業概要	環境保全型農業論、環境保全園芸論等の講義や関連する実習・実験等の授業で習得した知識を基に、環境保全園芸学に関する研究の実例を学術論文・書籍等（和文）を教材として議論し、専門分野の背景や手法、現状について理解することを目的とする。								
関連する科目	専攻演習Ⅱ・Ⅲ、卒業論文								
授業の進め方 と方法	事前に提示した課題について自ら学び、ゼミ形式でプレゼンテーションを実施する。本授業では、受講生と指導教員がディスカッションしながら問題解決型の体験学習として行う。								
授業計画 【第1回】	01. 授業の進め方 受講生各自の課題を決め、プレゼンテーション方法について説明する。								
授業計画 【第2回】	02. プレゼンテーションの実例 教員あるいは上級生によるゼミ発表と質疑応答								
授業計画 【第3回】	03. 課題に対するプレゼンテーション 課題ごとに発表スキルを学び、質疑応答の方法を身につける。								
授業計画 【第4回】	04. 課題に対するプレゼンテーション（受講生順次） 課題ごとに発表スキルを学び、質疑応答の方法を身につける。								
授業計画 【第5回】	05. 課題に対するプレゼンテーション（受講生順次） 課題ごとに発表スキルを学び、質疑応答の方法を身につける。								
授業計画 【第6回】	06. 課題に対するプレゼンテーション（受講生順次） 課題ごとに発表スキルを学び、質疑応答の方法を身につける。								
授業計画 【第7回】	07. 課題に対するプレゼンテーション（受講生順次） 課題ごとに発表スキルを学び、質疑応答の方法を身につける。								
授業計画 【第8回】	08. まとめⅠ（総括） 前半の研究課題について受講生全員が理解し、共通認識する。								
授業計画 【第9回】	09. 課題に対するプレゼンテーションⅡ 課題ごとに発表スキルを学び、質疑応答の方法を身につける。								
授業計画 【第10回】	10. 課題に対するプレゼンテーションⅡ（受講生順次） 課題ごとに発表スキルを学び、質疑応答の方法を身につける。								
授業計画 【第11回】	11. 課題に対するプレゼンテーションⅡ（受講生順次） 課題ごとに発表スキルを学び、質疑応答の方法を身につける。								

授業計画【第12回】	12. 課題に対するプレゼンテーションⅡ（受講生順次） 課題ごとに発表スキルを学び、質疑応答の方法を身につける。
授業計画【第13回】	13. 課題に対するプレゼンテーションⅡ（受講生順次） 課題ごとに発表スキルを学び、質疑応答の方法を身につける。
授業計画【第14回】	14. 課題に対するプレゼンテーションⅡ（受講生順次） 課題ごとに発表スキルを学び、質疑応答の方法を身につける。
授業計画【第15回】	15. まとめⅡ（総括） 後半の研究課題について受講生全員が理解し、共通認識する。
授業の到達目標	科学論文（和文）について、読解力および要点を纏めて発表、質疑に回答する力を身につける。
学位授与の方針（DP）との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)/2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)/3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)/3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)
授業時間外学習【予習】	次回の課題を予めアナウンスするので、各自で予習を行う。（30分程度）
授業時間外学習【復習】	授業で用いた科学論文について受講生各自で毎回復習する。（1時間程度） なお、不明な箇所は、必ず担当教員に質問して自ら学びを深める。
課題に対するフィードバック	プレゼンテーションや質問について、優れている箇所や改善が必要な点などを理由を付して都度講評する。
評価方法・基準	各課題テーマに対して理解度および発表力（50点）を、その他については質問の的確さおよび受講態度等（50点）を総合的に評価する。
テキスト	受講生各自の課題に関する論文を第1回授業で発表、配布する。
参考書	各回の課題に関する書籍・論文等を適宜紹介する。
備考	

# Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	環境園芸学科				
科目名称	専攻演習 I					授業形態	演習		
科目コード	710093	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	菅野 善明							ICT活 用	○
授業概要	<p>本演習では植物の病原体の分離・同定・診断の基本技術の習得を目的する。 植物の病気の生物学的要因である、糸状菌・細菌・ウイルスを実際に取り扱い分離、培養方法、形態観察、各種診断法の実験手法の知識と技術を習得する。</p>								
関連する科目	<p>微生物学、植物病理学、遺伝子工学、植物バイオ・育種演習、植物バイオ・育種実験を履修していることが望ましい。また、同時期に開講される総合防除論を履修することが望ましい。</p>								
授業の進め方 と方法	<p>授業計画の各項目について講義した後、実際に実験を実施し知識と技術を習得する。各実験についてはマニュアルを配布し、自分自身で実験が行えるようにする。また、演習ノートを準備してもらい、実験内容を記録し理解に繋げる。</p>								
授業計画 【第1回】	<p>1. 病原体の分類：糸状菌 どのような糸状菌が存在し、どのように分類されているか学ぶ。</p>								
授業計画 【第2回】	<p>2. 病原体の分類：細菌 どのような細菌が存在し、どのように分類されているか学ぶ。</p>								
授業計画 【第3回】	<p>3. 病原体の分類：ウイルス どのようなウイルスが存在し、どのように分類されているか学ぶ。</p>								
授業計画 【第4回】	<p>4. 病原体の分類：ウイロイド・ファイプラズマ どのようなウイロイド・ファイプラズマが存在し、どのように分類されているか学ぶ。</p>								
授業計画 【第5回】	<p>5. 病原体の培養：培地の作製 糸状菌および細菌を分離・培養するために必要な培地の作成方法を学ぶ。</p>								
授業計画 【第6回】	<p>6. 病原体の培養：無菌操作 糸状菌および細菌を分離・培養するために必要な無菌操作を学ぶ。</p>								
授業計画 【第7回】	<p>7. 病原体の培養：病原体の分離・培養 糸状菌および細菌の分離・培養実験を実際に行う。</p>								
授業計画 【第8回】	<p>8. 病原体の形態観察：糸状菌 糸状菌の分類・同定に必要な形態観察について学ぶ。</p>								
授業計画 【第9回】	<p>9. 病原体の形態観察：細菌 細菌の分類・同定に必要な形態観察について学ぶ。</p>								
授業計画 【第10回】	<p>10. 病原体の形態観察：ウイルス ウイルスの分類・同定に必要な形態観察について学ぶ。</p>								
授業計画 【第11回】	<p>11. 病原体の生物検定 病原体の存在・種類を明らかにするために必要な生物検定について学ぶ。</p>								

授業計画【第12回】	12. 病原体の血清学的診断 病原体の血清診断の原理の実際について学ぶ。
授業計画【第13回】	13. 病原体の遺伝子診断 病原体の遺伝子診断の原理の実際について学ぶ。
授業計画【第14回】	14. 病原体の圃場診断 病気の圃場診断の考え方・実際について学ぶ。
授業計画【第15回】	15. まとめ これまでの講義を総括するとともに病原体の分離・同定の意義について学ぶ。
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種病原体の特徴を理解し、その取扱い方法を習得する。</li> <li>・病原体の同定のための分類基準を理解するとともに分離・同定・診断の基本技術を習得する。</li> </ul>
学位授与の方針(DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)
授業時間外学習【予習】	各回の項目について、あらかじめ資料を配布するので、内容を精読し理解を深めておくこと(45分)。
授業時間外学習【復習】	実験後、結果および考察を演習ノートに記載し提出すること(1時間)。
課題に対するフィードバック	実験の結果および考察について受講者と教員が議論し、理解を深める。
評価方法・基準	同定基準の理解度・分離・同定・診断の基本技術の習得度を総合的に評価する。(100点)
テキスト	必要に応じて作製した資料を配布する。
参考書	微生物の分類・同定実験法(丸善)鈴木健一郎(2012)
備考	